成人映画22

The Seigin-eiga 1967

井上幸子

特集：
成人映画秋の陣

意欲作で斬り込む新藤／今村／吉田監督のあとに続け！

ピンクスターのセックス意識：一星ケミ

PLAYMATE

＊相原香織

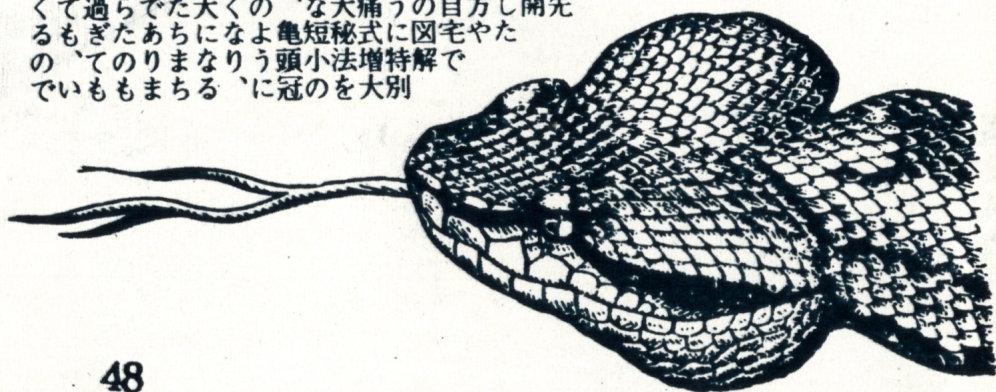
包茎・短小が自宅で

●どんな短小も モリモリ 増大する

●自宅で包茎も短小もピタッとなおる科学的自宅整形医学いよいよ公開す！すなわち医学博士秋吉隆夫・平野昭平 両先生の貴重なるご尽力によってついに公開された無痛式増大秘法は豊富な図解と親切ていねいな説明指導付ですからどんな遠方や地方の方でも自宅で無痛無害、絶対安全にスグできるのです!!

●包茎も早漏も ピタッと なおる!!

●中老年期の萎縮症も!!

いよいよ公開された『男性機能増大秘法』は、細を太に、短を長に、しかも亀頭冠の肉質を拡大する方法を無痛医学と細胞医学の研究成果によって少しも痛まず、自宅でこっそりとスグできる秘法中の秘法であります。これは世界で最も進んでいる西ドイツの人体医学に立脚して医学博士秋吉隆夫・平野昭平先生が日本で初めて公開されたもので整形をしたくも遠くて行けない方や手術がキライな方が自宅でできるようたくさんの図解と絵入で手にとるように特別くわしく指導した無痛式増大秘法であります。増大秘法をスグ実行すればどんな短小の方もモリモリ長大に、亀頭冠もハブ（毒蛇）の頭のように大きく固くたくましくなり、ボッキ力が驚異的強大になるので萎縮症も早漏もたちまちピタッと全快するのであります。そしてわれながらたのもしいかぎりが五十を過ぎても、六十七十の坂をこえても、いよいよ燃えさかってくるのであります。

●標準サイズは何センチ?

短小というのは標準サイズ以下のもので、その標準サイズは各医学者のデータを平均してみますと男性器の長さ十二・七センチ周径（まわり）十一・五センチとなっています。

ところが、細胞医学の開発が遅れていたため、いままでの人々は男性器のサイズというものは生まれつきのものでどうにも仕様がないものとあきらめざるを得なかったところ、西ドイツの人体医学に立脚して研究公開され、手術も薬も使わず自宅で細を太にし、短を長にできる最新の増大秘法が医学博士秋吉隆夫・平野昭平両先生の多年苦心研究の結果いよいよ完成されたのです。この増大秘法は異物注入などの方法ではなく、そのモノ自体の細胞、組織の肉質を急速にふやして増大する方法ですから、永久不変に増大を誇り、一生がい精気ハツラツとしてそのたくましさで女性を歓喜させ征服できる無痛式絶対安全の増大秘法です。この増大秘法は六十才でも壮者をしのぐ精気ハツラツになったという感謝状に力を得て両先生が鋭意研究完成されたもので、暗い沈み切った懊悩のフチをさまよわざるを得ない六十七十の人にも再び回春歓喜の人生がとりもどせるのです。

●包茎の恐ろしさ……

まず包茎は亀頭部分が包皮によって保護されているので表面が敏感となり、どうしても早漏になります。この早漏の悩みは何ともたえがたいものなのです。わずか七、八分でダメになってしまうのです。ですから女性には必ずケイベツされ、相手をイライラさせて性的ノイローゼになるのです。ですから結婚してもうまくいくはずがなく、一生がいにわたってカタワモノあつかいされ女性にきらわれて過ごさねばなりません。

この恐るべき包茎の苦悩から一日も早く脱出する方法ーつまり自宅でスグできる仮性包茎の完全なるなおし方を秋吉博士の秘法は教えているのです。病院へ行くのが恥ずかしい人や手術のきらいな人は、一日も早くこの秘法を行なえば自宅で人に知られずスグなおせます。

最も信頼ある医学博士が多年苦心研究の成果を公開指導されたものですから、絶対に安心して指導通りに実行されれば、急にあなたの人生がパッと明るくひらけて、心がハレバレするのです。あなたの包茎も早漏も、ピタッと完全になおり、どんな短小もモリモリ増大し、もう女性にも誰にもバカにされないリパな一人前のたくましい男性になれるのです。

●どうか、短小でお悩みの方、包茎や早漏、夢精、遺精、中老年期萎縮症、快美感減退や悪癖、自慰等でお困りの方はクヨクヨ考えていないで一日も早く『男性機能増大秘法』を実行してください！そして、男として標準以上の太さ・長さ・強さになってください!!

●専門に研究された医学博士の先生が、誰にもスグ実行できるようくわしい図解と絵入りで親切ていねいに指導されているのです！

●ただ今、特別公開記念のため切手七十円をフートーに入れ、『増大秘法の公開案内送れ』と申しこめば、中が何かダレにもわからぬようスグお送りします!!

●あなたも早く、強く、たくましく、女性を圧倒する男のミリョクをそなえてください！そして、男の一生がいの幸福をつかんでください！

申しこみさき｝◎東京都玉川局区内玉川局一号
日本細胞医学研究室指導部成人係

成人映画

NO.22目次

相原香織

秋の陣・意欲作で斬り込む三監督

吉田監督のあとに続け

々の深き欲望」「炎と女」に描かれるショックな性

今秋から来春にかけて意欲的な成人映画が揃う。いずれも独立プロダクションの作品であり、五社の配給作品だ。吉田喜重監督の「炎と女」、新藤兼人監督の「藪の中の黒猫」、今村昌平監督の「神々の深き欲望」、さらに吉田喜重監督の「樹氷のよろめき」である。ドラマの起点はいずれも〃性〃である。

それぞれことし注目さるべき作品を発表して話題をまいた監督たちが、どんな作品を生み出すか、大いに興味のあるところだが、成人映画の製作が本家のピンク映画プロはこうした強力作品が揃いはじめるとウカウカしていられない。監督やシナリオ、女優、製作費、それに配給網を比較するとそれは問題にならないだろうが、大かならずしも良とせず、小粒でもピリリと辛い作品を自由な企画で製作できる強味をフルに回転することこそ、ピンク映画プロダクションの使命と価値があるのだ。最近、ピンク映画の成人映画専門館をのぞくと、客足は多い。しかし中にはバカにするな！とその内容のチンプさに怒って途中で席を立ってしまう観客を忘れてはならない。

製作、配給関係者は一考や再考をしているときではない。つぎに紹介する作品群をそっくりマネルことはないが、成人映画の生きる道を考えるともっとオリジナルで、意欲的で前向きであってほしいのである。

新藤監督の期待に応えられるか太地喜和子

特集■成人映画

新藤·今村·吉

「藪の中の黒猫」「神

バスト102で映画界を席捲した桜井啓子

新人女優の起用で映画に新鮮さ

■桜井啓子を抜てき(無理心中日本の夏)した大島渚監督のけい眼

大島渚監督がさきの「無理心中・日本の夏」を製作するにあたって、二ヵ月余りも主役のネジ子探しをやった。ピンク映画の女優数人とも面接しているし、一星ケミも引き会わされている。苦心の末、決定したのが例の桜井啓子であった。

新宿のフーテン娘でヤク(薬)とアルコールとセックスに生きる総てを賭けるという女の子だったが、大島監督はその現代を触発するに足るフーテンぶりと、ボリュームの豊かさ(豊かさなんてものじゃなく、巨大さだろう)、オッパイが一〇二センというボイーンぶりに"これだぁー"となったのである。確かにマスコミが騒ぐほどのセックスアピールもあり、テレビ、週刊誌とPRも巧みで、一応の成果をあげた。

大島作品はすべて新人女優を起用しているのが最大の魅力であり、これまでも桑野みゆき、野川由美子、川口小枝、炎加世子らをスターにしてきた。それは大島ばかりでなく、今村昌平、新藤兼人、吉田喜重らにもいえることであり、大きな特色、いやそれが映画の新鮮さを生む最大の原因となるのだ。

一方、国映が「新・情事の履歴書」で瞳亜矢子を起用したのは成功の大きな原因であったことを如実に物語っているではないか。

壮烈な愛欲シーンに体当たり

■新藤演出に応える新人・太地喜和子の意気込み

新藤兼人監督の「藪の中の黒猫」は近代映協と日映新社の共同製作で東宝の配給。

　これまで新藤作品といえばきまって乙羽信子と殿山泰司のコンビが多かったが、こんどは中村吉右衛門と文学座の研究生、太地（だいち）喜和子の二人を主役に抜てきしたのはぐっと若返って大いに結構。「またも乙羽の小さいオッパイをみせられるんじゃかなわないよ」というカゲロを一きょにバン回するにふさわしい。

　映画は奈良末期時代、藪の中に住む母（乙羽）と嫁（太地）、その夫の銀時（吉右衛門）が雑兵にとられた留守に母と嫁が数人の落武者に犯され、焼死する。二人は報復するため化猫になって武士や落武者を寝所にだきこんではつぎつぎと食い殺し、生血を吸う、武将になった銀時は頼光（佐藤慶）の命令で化猫を退治することになるが、めぐりあった妻（化猫）と抱擁し、母の片腕を斬り取ったりする。新藤監督は「カブキの〝一条戻橋〟の渡辺信綱が妖怪の腕を切り取った話をヒントにはしているが、テーマは戦争の被害者の抵抗であり、民衆が猫に化けて仇討ちをする話だ。化猫はこれまでも日本の民話に多くあり、ファンタジックなものと東洋的なもの、それに芸術性を加味してやりたい」という。

　注目されるのは吉右衛門の妻でかなりきわどいベッド・シーンやハダカシーンをやる太地喜和子だが「ラブシーンが多くあるので、大胆にやってもらえるかーと交渉したら承諾してくれた」という新藤監督に応えて太地は「映画はあまり慣れてませんが、先生の指図に従ってガンバリます」と若い意欲をみせた。

　太地は二十三才の東京生れ、松陰高校卒、俳優座養成所からことし文学座の研究生になり、映画は「情炎」「花を喰う蟲」（主演）の二本に出演している。

新藤兼人監督　　大島渚監督

太地喜和子の新鮮なお色気が見もの

新藤作品にはピンク映画の水城リカも登場

猫によく似たカオをしていて可愛いい感じだ。こんども大胆なヌードシーンがあるらしいが、一応新藤監督は〝全裸のところはない〟といっているものの、裸やオッパイをみせないない新藤作品なんてあり得ないから、まずは期待していいだろう。シナリオの中のベッド・シーンをみるとつぎのような描写がある。

銀時「酔った…」女「すこし、横におなりあそばせ」と膝を寄せる。彼は太い腕をのばして女の腕をとらえる。女は待っていたように彼の膝へ崩れかかる。彼は抱きしめてキスする。女は彼の首に手をまわす。彼は女を抱いてうえになり、はげしく愛撫する。女が彼の上になる。昼を交わし、頬にノドにはげしくくちづけをする。

彼は彼女のなかへ、あらしのようにはいっていく。銀時「おおシゲ、おまえをおれはとって食ってしまいたい…おまえを噛みくだいて、おれのからだのなかへ入れてしまいたい…」

女は身をもだえて、心をちぎるように泣く。女「もっと抱いて…もっといじめて…わたしのあなた…」

こうした点を察するとかなり大胆なベッドシーンが要求される。太地自身は新藤作品のシナリオも読まず、声がかかったら一も二もなく出演をOKしたそうだし、脱ぐこともきわどいベッドシーンもいとやせぬといった決意をみせた。

ほかにさきの「本能」のタイトルバックに出演全裸になったピンク映画の水城リカもヌードシーンにちょっぴり出演するそうである。

吉田喜重監督

吉田＝岡田コンビで〝性〟に取り組む

■人工受精と夫婦間の〝性の回起〟を描く「炎と女」

ことしの春、新藤兼人の「性の起源」と一緒に封切った吉田喜重監督の「情炎」が成人映画としてヒットしたことから、吉田作品がまたもこの十一月に公開される。目下撮影の「炎と女」だ。吉田と岡田茉莉子の夫婦プロ現代映画社の製作で、松竹の買い取り作品。

人工受精によって子供を生んだ夫婦（岡田・木村功）とその提供者夫婦（日下武史）の奇妙な心理と行動を通して、現代の愛と性を描こうとするもの。吉田監督は「人工受精は法律でみとめられて抵抗なく行なわれている。これによって日本の女が大きく変化したことも事実だが、それによって男と女、夫婦、家と深いところで波紋を起こしているだろう。ボクの描く焦点は男と女、とくに女の心理を深く彫りさげて描きたい」といっている。

吉田はさきの「女のみづうみ」「情炎」と一連の女性心理映画を描きつづけてきた手腕は評価されていいだろう。これはやはり吉田―岡田の夫婦コンビでなければ創造されない有利な条件下にあるともいえる。

「炎と女」は嫌がる立子（岡田）を説きふせて夫（木村）が人工受精をさせる。その精子の提供者は坂口（日下）である。そして子供が生れ、表面親子三人はいかにも幸福そうだった。

やがて立子夫婦と坂口との二組の夫婦の奇妙な交友関係が続く。その後、軽井沢の別荘で立子と坂口の二人は激しく抱き合った。

「これがあなたなのね…鷹士（子供）をわたしにくれた…あなたなのね…」。

つまり、誰の精子なのか、生まれてみて、その子の父親の顔をみたい、いや人工受精よりも真実の自然の性の営みによって〝父親〟を確認したい、人工受精を受けた母親の最終的な願いや情念は結局そうした原点に回起する―これが吉田監督の狙いだろう。

「これがあなたなのね」と確認し、そして自然なセックスの中から子供を生む―という原始の性、その性が現代の社会の中でさまざまに歪められてゆく、愛と性の問題を告発しようとする吉田作品は、さきの「情炎」より一段進展した作品になるだろう。

セックス描写もさきの「情炎」では岡田と木村功とのベッド・シーンが美しい映像でとらえていたし、岡田のヌードが一つの芸術的フォートの中で表現されていた。

こんどの作品でも別荘での岡田と日下との〝これがあなたなのね〟と確かめ合いながら〝性の回起〟へのベッド・シーンはこれまで以上の激しさで描かれるだろう。いやこの場合女性側の欲求であり、性の攻撃体制側であるわけだから、岡田の積極的な激しいベッド・シーンは当然である。文字通り〝炎と女〟の炎があかあかと燃えねばなるまい。

「炎と女」でどうみせる岡田のセクシーさ

吉田監督は「テーマに合わせて作ることじゃなく、出来上ったときにわかると思う。〝炎〟の意味も作りあがったときにハッキリする」と記者会見の席上で述べたが、子孫を生む行為はあくまでも燃える炎であらねばならない。

それがこのヒロインの場合は冷たい試験管の中の冷却した精子でしかなかった。熱い精液の胎内注入ではなかった。立子が自然なセックス行為を得ないまま、子を生みながら、大きな不満と、いつの日にか、炎の性の相手との接点を夢見て憧れた。当然女性としての願望だろう。悲しい女の業ということではなく、人間としての本能回帰とみるべきだろう。

吉田喜重と岡田茉莉子のコンビ作品が、やっと大人の映画の観賞に耐える時点にまで高まりつつあることに注目と期待をよせたい。

このあと吉田―岡田コンビで十一月中

旬、「樹氷のよろめき」を映画にする。七年前からの企画で、背景は厳寒の北海道、札幌から函館までの汽車の中で二人だけの男女の話を描くという。休むヒマもない活動ぶりだが、吉田作品がこうもモテルのは珍しいことだ。

現代人の〝深き欲望〟は何か？

■注目されるテーマ〝近親相姦〟と抜てきされた沖山秀子

今村昌平監督

「人間蒸発」でことしの夏の映画界の話題を提供した今村昌平監督が四年越しの企画であった「神々の深き欲望」（今村プロ製作・日活配給）をやっと映画化している。

これも一つの執念である。「エロ師たち・人類学入門」の前に映画化の予定だったが、日活側の意向もあり、製作費が一億円をオーバーするので見送られていた。

ところでこの「神々の深き欲望」はさる三十八年に俳優座小劇場が、俳優座で公演した「パラジ」（演出・今村昌平）と今村のシナリオ「禁じられた海」をミックスした内容で脚本は今村とコンビの長谷部慶次の共同脚本、すでに七稿目の脚本を書きかえた労作。

このシナリオの点だが、もっとも基本的なものを完成するためにかくも苦労を重ねる点は大いに見習うべきだろう。

とくにピンク映画の杜撰（ずさん）な脚本にくらべたら、せめて今村の脚本体勢の三分の一でもウエイトをかけたら、観客から〝バカにするな！〟といわれないだろうし、成人映画の総体的向上になると思うのだが……。

映画は架空の島クラゲ島で一番古い巫女の家柄に生まれたのが精薄の娘トリ子（沖山秀子・新人）。その太家（フトリケ）は尊い血筋といわれ根吉（三国連太郎）という獣のようなどうもうな男が現われ、密漁はやる、盗みはする、あげくの果ては島中の女を追いかけ他人の女房に手をつける。この一族の中で根吉と妹（根岸明美）とヘンな関係にあり村人が二人を撲殺してしまう。南の孤島の近親相姦を主に古事記を現代にあてはめての寓話としてとりあげている。その未開の島に飛行場や製糖工場ができたときの混乱は明治の西欧文明の侵入の場合と同じ設定として描き、さまざまな資本投下の中で住民は神の意識から抜けでることができない。

いま話題を集めているのは主役のトリ子役の沖山秀子なる女性。すでに三年前から出演が決まっており、今村監督は彼女をイメージにおいてシナリオを書いたという。目下関西学院大学仏文科の四年生、二十一才。身長一六二ｾﾝ、体重五八ｷﾛ、バスト九三、ウエスト六二、ヒップ九五ｾﾝのグラマー。両親が奄美大島の出身で、彼女の南国ムードはそのままトリ

子役にピッタリ。なかなかオープンなことをいい行動する女性で、興味あるのはセックスの発言。

「セックスするときはなにも着ない、セックス欲求度はかなり強い方だし解消法はケース・バイ・ケースで、結婚したら主人の義務回数は一日二回、自分のヌードは自信があるからみられたって平気、しまって肉づきのいい不敵な面がまえの男にセックス・アピールを感じ、ワイ談が大好き、膣外射精はああ、もったいない—」とテキパキいうのだから相当のスケールである。

さきの「無理心中・日本の夏」の桜井啓子のオープンなセックス観といい、この沖山秀子といい〝深き欲望〟の主である。

こうした現代に直結した天真らんまん、解放的である新しい魅力を秘めた女性でないと新人女優として通用しないのかも知れない。

この作品四ヵ月がかりの撮影で製作費は一億二千万円。オールカラーで、キャストも長期撮影のため、テレビ、映画、舞台に拘束されている俳優を使わずしかもベテランどころが出演するが、沖縄ロケをはじめ、異色の作品になることは必定。新藤の太地喜和子、吉田の岡田茉莉子、今村の沖山秀子といった女優で競作するこれらの成人向映画は、化猫、人工受精、近親相姦の問題と人間性の本質を鋭く深く、美しくどう表現するか、注目される。

リハーサル中の沖山秀子

①

大蔵貢社長にきく

に滅びない

若尾文子が全裸になればやはり強敵

—最近邦画五社がさかんに成人向映画を作っているがピンク映画界としての対策は？

「エロとアクションものをやれば興行的にはヒットするでしょう。しかしただそれだけのものじゃないかな。若尾文子あたりが吹き替えを使ったり三田佳子がベッドシーンをゴネたりして全部脱いではくれない。あれで全部脱いで濃厚なベッドシーンやオッパイを見せてくれればピンク映画界にも影響があるが、いまの時限ではかえってこの世界にはプラスになっているね。こっちはどんどん脱がせるしね。あちらは中途半端だからね。」

—ピンク映画の監督、女優に望みたいことは。

「私は勉強不足で、あまり映画も見ていないし現場にもあまり行かない。新東宝時代にやった「明治天皇と日露大戦争」なんかだとファイトがわき現場によくいったもんだよ。

—プロダクションが損して配給会社だけ儲けているというウワサについて。

「配給会社は儲かってませんよ。作る側(プロダクション)は損をしていることは事実だ。それはね、群小プロが多すぎるんだよ。二、三年前にピンク映画を作れば儲かる—という話でわれもわれもとどんどん作った。自然と本数も多くなって、メージャーとして当然買いたたくわけですよ。作る側としてはぜひとも売りたい。そこで損をしても売ってしまう。資金がないから余裕なんかありっこないんだから……。うちの場合は小屋を持っているので小屋の方でどうにか儲かっている。配給者側より興行者側の方が儲かっているね」

ハダカはドリンクより有益なもの……

ピンク映画界にはスターは必要ない

ピンク映画は永久

大蔵貢社長

今月から毎回独立プロの社長、製作者にインタビューして、さまざまな発言をオープンに語ってもらうことにした。現状を打開する道、上昇への指針なりをドシドシ主張してもらいたい。その第一回目は大蔵貢社長。大蔵映画のOPチェーンを今日の上昇気流にのせたあたり、さすがにその道の大物。

川島のぶ子

―ピンク映画の黄金時代といわれた二、三年前、内田高子や新高恵子らが活躍していたが、それぞれ方向転換したり消えてしまった。現在は女優不足だといわれているが。

「いまのままで間に合っているのではないか。ピンク映画界ではスターはあり得ないね。内田や新高が有名になってしまうともう裸になってもおもしろくないよ。同じ裸を毎週みせられたんではかなわないものね。大衆だって新鮮なピチピチした女性の体をみたいし、それに無名の女優の方が一生懸命やっているという感じで飛躍があっていいんじゃないですか。」

―あなたはどんなタイプの女優が好きですか。

「どんなタイプというより私の場合は一目ぼれしてしまうんでね。人があんな女のどこがいいんだとか、ちっとも魅力がないとかいうが、私にはちっとも感じないんだな。デパートに行ってキレイな女性がいると立ち止ってみとれてしまうんだよ。本能的に美しいものが好きなんだな」

ピンク映画は酒やタバコより有益なもの

―ピンク映画はどこまで続くと思いますか。

「ピンク映画は永久に滅びない。セックスというものは人間にとってドリンクより有益なものだよ。ピンク映画は有害だ！悪だ！というが、タバコや酒のほうがはるかに有害じゃないですか。それを国家で専売で売っているではないですか。人間のセックスを禁じることは絶対に出来ないし、封じるものではない。たべることと同じように人間の本能があるかぎり続く。人間生活は有益と有害がミックスして出来ているもんだよ。だからピンク映画がすたることはありえない。しかし表現方法は時代とともにずい分と変ってゆくと思うね」

あなたは何本見ましたか？

一月から八月までの映倫の成人向指定作品一覧

■一月　現代の恐怖（東京産業通商）十八才の愛人（新東宝）乳房の香り（中央映画テレビ）ダブル処女（ヤマベプロ）寝ものがたり（光映画）**■二月**　密室の抱擁（武田プロ）芸者（新日本映画）泥だらけの制服（青年芸術映協）かまきり（松竹）恍惚の夜（美松プロ）禁断の情事（大蔵映画）日本春歌考（松竹・創造社）戯れ（青年群像）女の責め（日本シネマ）惨忍（東京興映）**■三月**　昼下りの逢びき（日本芸術協会）夜の悦び（日本芸術協会）花の色道（大蔵映画）泣き濡れた情事（葵映画）手さぐり（ワールド映画）素肌の罠（日映企画・ヤノプロ）あやまち（寺坂プロ）激しい関係（日映企画・ヤノプロ）いそがしい肉体（ヤマベプロ）色の手配師（青年群像）女あさり（日本芸術協会）情事の階段（ヤマベプロ）綱の中の暴行（若松プロ）**■四月**　処女ざくら（ワールド映画）女のよろこび（中央映画テレビ）或る密通（日本シネマ）情夫と情婦（わたなべプロ）女狩り（プロダクション鷹）夜泣く女（青年芸術映協）女子寮（日本芸術協会）激情の乳房（光映画）スペシャル（新日本映画）処女の烙印（日映企画・ヤノプロ）歪んだ情欲（ヤマベプロ）無軌道女性（ヤマベプロ）現代女性医学（大蔵映画）続・悪徳医女医篇（日本シネマ）乱れた関係（葵映画）新・情事の履歴書（青年群像）美女拷問（東京興映）泣きどころ（ワールド映画）**■五月**　あばずれの悦楽（東京プロ）若い女に手を出すな（映建工芸）ハダカで今晩は（映建工芸）不毛の愛欲（青年群像）情炎（松竹・現代映画社）処女未練（日本芸術協会）さそり（松竹）札つき処女（中央映画）鞭と肌（ヤマベプロ）ひめごと（シネユニモンド）若い刺激（武田プロ）完全なるけっこん（日本芸術協会）いろの道づれ（日本芸術協会）クライマックス（ワールド映画）生首情痴事件（大蔵映画）肉の爪あと（東京興映）異常な交渉（日映企画）**■六月**　肉体泥棒（ワールド映画）悦惚の泉（日本芸術協会）地獄の愛撫（光映画）殺しの烙印（日活）青い暴行（青年芸術映協）花を喰う虫（日活）蛇淫（寺坂プロ）赤い肉（ヤマベプロ）炎のもつれ（日映企画）堕落する女（近代映協・松竹）性の起原（近代映協・松竹）ダブルベット（ワールド映画）肉体の誘惑（葵映画）オヘソで勝負（新日本映画）**■七月**　深い欲望の谷間（アジアフイルムズ）異常者の血（若松プロ）女体蒸発（日本シネマ）女の媚態（日本芸術協会）奴隷未亡人（中央映画）若妻の匂い（光映画）性の放浪（若松プロ）処女の血脈（青年群像）人生四十八手裏表（日映企画）かぶりつき人生（日活）性の三悪（大蔵映画）肉刑（東京興映）女高生の絶叫（日映企画）受胎（プロダクション鷹）痴人の愛（大映）大奥㊙物語（東映）毒牙（青年群像）柔肌しぐれ（ヤマベプロ）女の味（ワールド映画）**■八月**　ピンクの挑発（青年芸術映協）夜のただれ（日本シネマ）脱がされた制服（東京芸術映協）女の取引（光映画）挑色電話（葵映画）恥かしい技巧（日本芸術協会）激しい交歓（日映企画）無理心中・日本の夏（松竹・創造社）夜のひとで（松竹・創映）女子大生の禁じられた花園（大蔵映画）汚れ（日本シネマ）処女残酷（渡辺プロ）処女のためいき（幸プロ）女体整形（日本芸術協会）ネッキング（ワールド映画）荒野のダッチワイフ（大和屋プロ）青春の悦楽（プロダクション鷹）骨ぬき（中央映画）

KAORI AIHARA
魅力探険＊相原香織

PLAYMATE ＊相原香織 KAORI AIHARA

「狙われた新妻」で新賀寿美子という芸名でデビューしたのが二年前というからこの世界では古株だが、その後、空間があった。ことしになって大蔵映画社長から名付けてもらったのが相原香織。
東京生まれ、23歳。京都の短大卒というからなかなかのインテリだ。そのためか態度がデッカイという評判をきく。しかし、これはむしろ〝個性的〟と善意に解釈したい。アングルによっては新高恵子や三田佳子にそっくり日本的美人である。
月平均三本に出演し、好きなレースあみも出来ないと嘆く。俳優座養成所に通い、資生堂のモデルもやったそうだが、二十三歳にしては落ち着き払っている。身長160、バスト93、ヒップ88。

ベッド・シーンをリアルに演じてみせて、観客にアピールする女優たちの、素顔のときのセックス意識はどの程度のものだろうか。

なんだそれだけしか知らないのかという人や、参った、いい線いってるーというのやさまざまの女優に登場願って、より女優の内面と日本女性の変貌を察知しようではありませぬか。そこで第一回目は一星ケミクン。

ピンクスターの
セックス意識

《一星ケミにピンクな質問》

♥…今朝もベッドでビリビリ

問い　まず性感帯がどこにあるかききたいな。
一星「胸ね。さわられるとビリビリしびれちゃうんだ」
問い　最近、それでシビれたことある？
一星「今朝、もうベッドでさわられてビリビリ…」
問い　はじめての生理があったのは？
一星「中学二年のとき」
問い　キスを経験したのは何才？
一星「はじめてのは幼稚園のころ近所の男の子とだったけど、本物ってのは最近になってからね。相手は同じ年（十九才）で同業のヒト……」
問い　その時の気持ちは。
一星「ポーッとなってみんな忘れちゃうわ。もう死んでもいいと思うこともある」
問い　セックスをはじめて経験したのは。
一星「十七才の時ね。相手は二十八才の建築設計士。川崎敬三に似ていていい男だったわ。そのときは夢中でなんにもわからなかった。とにかく冒険したかったのね。相手が強引なので泣いちゃったけどね」
問い　結婚を申し込まれた回数は。
一星「六回」

♥…体位は三つ知っている

問い　下着で一番気を使うのは。
一星「やっぱりパンティね」
問い　セックス用語はどのくらい知っている？まず、マスターベーションから。
一星「もちろん」

ベットシーンを演じる一星ケミ

問い　オルガスムスは？
一星「体験ないわね」
問い　クリストは？
一星「なんのこと？それ」
問い　体位はいくつ知っている？
一星「三つ　形は知ってるけど言葉になるとわかんない」
問い　エロ写真やエロ映画みたことは。
一星「8ミリはみたことある。ある婦人科カメラマンのところでだけどね。きよ年よ。カラーだったけど外国のものなの。いやらしくて涙がでてきちゃった」
問い　男のヌードみたことある？
一星「グロね」
問い　〝オトコ〟にさわったことは。
一星「ある。十分間ぐらい、不思議な物体で、おかしくなっちゃう」

♥…セックスは一晩に三回

問　男性のセックスポイントは。
一星「目ね。瞳がその人の全てを表現しているし、目のきれいな人をみるとゾクーッとなるなあ」
問い　フロに入って一番最初に洗うところは。
一星「耳。これはお母さんの影響ね」
問い　女性自身は。
一星「ていねいに洗うわよ。オッパイもよく洗って手入れするたびにもう少し大きくなりたいと思う……」
問い　月に何回セックスをする？
一星「いやあねえ、すごくリアルにきくのね。そうね二回ね。一週間に二回よ」
問い　特定の人と？
一星「もちろん」
問い　一日に何回。
一星「ウシシ、三回よ」
問い　満足度は。
一星「デリケートなものなのよ。ただ相手が若いでしよ。こちらがなんにも知らないうちにエンドになっちゃうのが多いの」
問い　いままでの性体験は。
一星「十人位い。前に四十才位いの人と半年ほど同棲したことあんの」
問い　避妊方法は。
一星　あまり知らないわね。私自身、その必要ないし、アブなくなった経験一度もない」
問い　性的欲求度が高まった場合は。
一星「もちろん人間だからあるのが健康でしよ。その時は相手にデンワしておいでを願うわ」
問い　その時の場所は。
一星「私のアパートは狭いしね、すぐおとなりに聞こえるのよ。だからホテルか旅館に行きます」

セックスは週二回位するかな…

エロ映画見てたら涙がでてきちゃった

成人映画見たまま

『青春の悦楽』＝ベッドシーンの代表映画●『性の放浪』＝小味のきいたパロディー

〈青春の悦楽〉

〈性の放浪〉

青春の悦楽

葵映画配給

▼**ストーリー**…京都に住む姉(相原香織)と妹(祝真理)が相反する性格で、姉は純日本的、妹は男がセックスを楽しんでいるのに、女だけが損することないわよ…といろんな男とガバチョ。中年の彫刻家(鬼塚大吉)の親切さにホンモノの愛を知り、ゾッコン参ってしまう。妹の熱意にほだされて中年芸術家は結婚を約束、二人でパリに旅立ってゆく。　監督木俣堯喬

▼**BG**…男だけがセックスを楽しんでいる—なんてそんなことないじゃない。一緒に寝たら女だって楽しいもんよ。二十才も違う中年の彫刻家はあんまりさえないわね。どこがいいのかわからないけどさ祝真理が半年でも三ヵ月でもいいからって、サカリついたみたいに"抱いて""抱いて"とねだるのはどうかな。ヘンリー・ミラーと結婚したホキ徳田ならいざ知らず、あまり豊かそうでもないし、やはり女心と秋の空というのかしら…。

▼**中年ファン**…パートカラーだから、ベッド・シーンになるとパッと色彩になる。相原香織ってのはやる気あんのかないのか、ただ脱ぐだけの女優で味けないなあ。それにくらべれあ、祝真理はピチピチしていて一ぺんぐらいは—と思わせる若さと可愛いさがあったね。ベッド・シーンで祝が悶えたり、エクスタシーに達するときの脚の指まで延々と、もう結構でございます—というまで撮ってんだね。いくら京都でももっとテンポ早くなりしまへんか。祝が薄いパンティの下からなんや黒いのがみえる二秒の瞬間、ドキリンコとさせるし、まさにベッドシーンの代表映画の感じ。話がもっとヒネるべきじゃな

かったかな。このごろは週刊誌の小説のおもしろいのを読み慣れているし、もっとシナリオをひねらんとあきまへんぜ。

性の放浪 日本シネマ配給

▼ストーリー…実直なサラリーマンの山谷初男は団地に住み美しい妻がいる。この女房ア、ノ方が強いので、夫はウンザリ、セックスばかりではないけど、なんとなく総てにアキアキして蒸発し、見知らぬ漁村に行き、そこで海女と出来たり、女優にひろわれてセックスを楽しんだり、ドライブインのウエイトレスと出来たり。そのたびに女房の攻め方が幻想となってのしかかる。やっと上野駅に着いてみると、女房は蒸発した夫を探し求める記録映画のスターの主役をやっていた。女房と再会してその台本をみるとなんと題名は「蒸発人間」だった。

▼サラリーマン…月給が少ない、帰りがおそい、帰れば帰ったで、週刊誌のセックス記事に毒されて、夜の攻撃がきびしい。三万円チョボチョボの安給料でコキ使われて、ボクだって好き勝手な放浪の旅をしたいよ。女房なんてくそくらえだ。

その心情がボクらの胸にピタリと迫ってくるので、笑ったあとがホロ苦いねえ。

▼監督…ギョッとしたね。今村昌平が蒸発人間をとったが、その男性側の行動を撮るなんて皮肉もいいところ。シナリオが小味でいいねえ。女房のハダカ回想シーンだけがセピアのパートカラー。せっかくの色彩があまりきいてないねえ。

製作若松プロ・監督若松孝二。

（眼次郎）

再び国際映画祭に出る若松作品
『胎児が密猟する時』の前評判！

出品される「胎児が密猟する時」

若松孝二監督が「胎児が密猟する時」を12月25日から開かれるベルギーのブリュッセル国際映画祭コンクールに出品するという。「胎児—」のほかに足立正生監督の「銀河系」も一緒に出品するそうだが12月初め、若松監督と映画評論家の佐藤重臣氏も同行する。「胎児—」はさきに本誌でも特集し、評価した通り、周知の力作。ブリュッセル映画祭は四年に一回開催され、こんどで四回目。「胎児」が出品されることになったのは同コンクールの審査員の一人ローラン・レタン氏が来日して映画をみてぜひ出品してはと要請した。字幕なしでもよくわかるとレタン氏は高く評価したという。

若松作品は一昨年六月ベルリン映画祭に「壁の中の秘事」を出品しており、こんどで二度目。国際的な映画祭にピンク映画が映連と関係なしに出品され〝国辱映画〟だとセンセーションをまきおこした。

「この映画をみた向うの男性は泣いて喜こぶんじゃないですか」と自信たっぷりだが、十二月まで三本撮って旅費をかせぎベルギーのほかアメリカも回ってくる予定だそうだ。

ピンク映画に緑魔子誕生か？
＝渡辺祐介監督がピンク映画界に斬り込む＝

東映の緑魔子主演ものを手がけ、最近松竹「なにはなくとも全員集合」を演出した渡辺祐介監督。（写真）

いま企画中でぜひとも実現したいといっているのが、十

ショート・ニュース

■日本シネマは新日本映画社と共同で立体映画「変態魔」（監督関孝二）の製作にはいった。テストにも成功し本邦初の飛び出すセクシー映画となる。

■旭映KK（代表藤間達也）が成人映画配給会社として発足。第一回作品「処女のためいき」（監督高木丈夫）を封切った。事務所は東京都港区新橋三ノ二ノ八、電話（五〇一）一八六九。

■関東映配10月配給作品は「肉地獄」21日OPチェーンで封切

■アジアフィルムは「深き欲望の谷間」につづいて「穴」（仮題、監督沢賢介）を25日からクランクイン。出演者は左京未知子、美矢かほる、相原香織、水城リカほか。封切は10月。

■国映は10月作品「荒野のダッチワイフ」につづき11月作品「淫雨」（監督向井寛）を10月上旬から能登半島でクランクイン。

■葵映画は11月作品「悶絶」（監督西原儀一、主演香取環）を鎌倉でロケした。封切は11月下旬
10月作品は「青春の悦楽」（監督木俣堯　主演祝真理）

■東京興映の11月作品は「悪道魔10年史」（監督小森白）「知りたい年頃」ほか1本の予定。

五才と十六才の少年少女の性と愛の深層をドキュメンタリータッチで描く作品。

性と愛は果たして一致をみるものか、それとも分離されるものなのか、その少年と少女が試みたセックスと回答―渡辺監督は「二人の少年少女をかりて、性とは、愛とはの根元的なものをもう一度提起したい」と構想を語っている。製作費は三百万円程度で、誰からも制約されない内容で、スタッフもノーギャラの映画の好きな連中で撮りたいという。

このプランを聞いた国映の矢本一行製作部長は新宿のさる飲み屋で渡辺監督と会談、意気投合してぜひ一緒に作りましょうと約束し合った。

渡辺祐介監督

渡辺監督は「五社も国映もありませんよ。映画は同じ、一緒にやりましょう」といっている。スケジュールの都合がつけば年内にクランク・インし正月ごろ公開したい希望だ。題名は未定だが、シナリオの一稿は出来ており、少年少女には新人を起用し第二の緑魔子の出現も期待される。

尚正月作品は2本配給の予定で「密通刑罰史」（監督小森白）となっている。

■ワールド映画の10月作品は、「ダブルエッチ」（監督奥脇敏夫）となっている。

■大蔵映画では68年ヌードカレンダーを近く発売する。撮影は中村立行氏。

■大蔵映画は正月作品としてセミドキュメンタリー「性生活と結婚」（監督小川欽也）と決め正月3日からOPチェーンで上映する。

■葵映画は「性犯罪」（若松プロ製作、監督若松孝二）の配給を決めた。

裸こそチャンス（三匹のかまきり）前田憲子

ハダカで一躍スターになった女優は数多い。こんどは私の番よ！とまたも威勢よく脱いだのが、「三匹のかまきり」（松竹・監督井上梅次）での藤田憲子。別府の生れで二十二才。身長160、体重51、B90H94のグラマー。

この映画、さきの「かまきり」の続篇だが、岡田茉莉子、香山美子、佐藤友美の雌カマキリがセックスを武器につぎつぎオスの男性どもを喰い殺していくエロチック・ミステリーだが、四匹目のカマキリになるのがこの藤田憲子。

全裸シーンを二度も大胆にやってのけ、井上監督に「根性ある子だねえ」と感嘆させたそうだが、当人は「ハダカこそチャンス、目標をつかむまで脱ぐことなんか平気よ」と勇ましい。三匹のカマキリ女優が完全に食われてしまったそうだが、吹替えヌードで告訴さわぎまでやった三田佳子とくらべたらなんと好対照であることよでアリマス。

■写真は四匹目をハダカでハッスルする藤田憲子

「性犯」の井上幸子

スクリーンエロチシズム

＊今月の新作紹介

性犯 ＝大蔵映画配給

■サディスティックなカメラマンとモデルの異常な行為!!

夏のある日、休暇を利用して写真を撮りにきた女性カメラマンの信子（井上幸子）は谷川の渓流で泳いでいるところを通りかかりの若者たちに襲われた。その光景をのぞいていた男高田（鶴岡八郎）は彼女を連れてホテルへ帰った

彼は有名なカメラマンだった。その夜、モデルの友子（林美樹）を撮っている彼の行動は異常だった。他のモデル達は彼の仕事ぶりを見て逃げ帰ってしまう。失意の高田に信子はモデルになった。彼の制作態度は異常に思えたが信子は

「暴欲の色布団」の松井康子

「女の取引」の一星ケミ

我慢した。そんなことから信子は高田のサディスックな扱いに悦びを感じ婚約者の伊東（名和三平）が呼び戻しに来ても高田から離れられない女になっていた。監督＝小川鉄也

女の取引 ＝関東映配配給

■美しい姉が秘めた秘密、愛と肉体の取引とは？

清純でしとやかな京子（加賀奈緒美）と自由奔放な雪江（一星ケミ）の姉妹。京子は社長の久保田（村山京司）の秘書だが十日後には挙式をあげる。京子は結婚を控えての悩みは雪江だった。昼は喫茶店で働き夜は男達と遊びまわりその素行はおさまらない。そんなある日、雪江の友達三人に京子は犯されてしまう。絶望した京子の前に叔父の村上（冬木京三）が十年ぶりに姿をあらわした。京子にはいまわしい過去があった。十六のとき叔父に犯され幼い雪江をかかえ叔父の家をとび出した十六の娘にとって妹を養うことは肉体と金の取引きしかない。雪江は姉の秘密を知り姉にわびるのだった。結婚式まであと三日、苦悩の京子に例の三人の魔手がまたも追ってくる。製作＝光映画　監督＝片岡均

暴欲の色布団 ＝東京興映配給

■復讐のために体を売る女！

高校生の新子（谷ナオミ）の父（木南清）はバーのホステスをしていた華子（松井康子）を後妻に迎えた。年の違う夫に満足しない華子は夫の会社の社員山口（長岡丈二）

と情交を結んでいた。二人がホテルへ入ってゆくのを見た新子は父に別れるようにすすめる。新子のため家を出なければならない華子はバーテンの健（国分二郎）に新子を犯すことを頼む。新子が暴漢に犯されたことを知った父はショックのため倒れてしまう。華子と山口は共謀して夫を殺し莫大な財産を手に入れるが、新子の復讐のため二人は死んでしまう。一人ぼっちになった新子はあてもなく歩きつづけるのだった。製作＝渡辺プロ　監督＝渡辺護

狂ったいとなみ

■裏服の下の熱いときめき・女の欲望が火花を散らす!!

＝関東ムービー配給

芝木流の家元が死んで残された息子幸之輔（津崎公平）はさやか（相原香織）とむつみ（水城リカ）のどちらに継がせようかと悩んでいたが、さやかの豊かな肉体にひかれ不純な関係になってしまう。さやかは芝木流のマネージャ平山（泉田洋志）と共謀して二代目を狙っていた。むつみも幸之輔に官能的に誘惑するがトップ屋の愛人（秋津啓介）

「狂ったいとなみ」の水城リカ

と二代目を狙っている。二代目相続を発表の日、むつみとさやかは醜い女の本性まる出しで口ぎたなく争ったが幸之輔の相手は内弟子の圭子（一星ケミ）だった。彼にひそかな思いを寄せていた圭子は夢のようだったが、平山から圭子と幸之輔は腹違いの兄妹だと知らされ激しいショックをうけるのだった。製作＝東京芸術映画協会　監督＝佐々木元

「青春の悦楽」の祝真理

青春の悦楽 ＝葵映画配給

■美しき肉体を利用して男をほんろうする無軌道娘!!

女子大生の麻利（祝真理）はムード次第で誰とでも寝てしまう。麻利は「男ばかりいい思いして傷つくのは女だけ、男が楽しむなら女だって楽しめばいいんだ。男と同じ立場で…」ドライな娘である。

カメラマンの松原（佐藤洋）と都築（浅野光男）は麻利を取巻く男達だ。松原は都築の妻（青柳恵子）と不倫の関係にあるが麻利の姉京子（相原香織）を強引に犯してしまう。京子には荻野（鬼塚大吉）と

「汚れ」の滝リエ

「おんな泣かせ」の美矢かほる

いう許婚者がいたが松原の誘惑に負け松原の許に走ってしまう。失意の荻野と麻利は体をかけて慰さめようとするが受けつけない、女の肉体に負けない荻野に麻利は次第に興味を覚えるのだった。

製作＝プロダクション鷹
監督　木俣堯喬

おんな泣かせ

＝六郎映画配給

■不倫のなやみに崩れた人妻の肌！

淳一（野上正義）は同僚の春江（大月礼子）と結婚した。そんなある日、町で知り合った洋子（浜夏子）に誘われお茶を飲みタクシーで帰る途中マスイ薬をかがされ失神してしまう。淳一が気付いた時、半裸のままベッドに寝かされていた。体を寄せて来たのは意外にも部長（泉田洋志）の妻玲子（美矢かほる）だった。

一方春江も淳一と結婚する前から部長と深い関係にあり結婚後も不倫な関係が続いていた。夫を愛することが出来ない玲子は淳一に愛を感じるが約束の日に彼は来ない。淋しさをまぎらわすため友達の佳子（千月のり子）の経営するバーにゆき佳子と倒錯した歓喜にあえぐのだった。監督＝酒匂真直

汚れ

＝日本シネマ配給

■娘の肉体を夫に投げ与える非情な母!!

光子（滝リエ）は働き者の父（二階堂浩）と男好きで浮気な母お浜（藤ひろ子）に育てられた。光子は娘を道具の

ように扱う母より父になついていた。ある日父と二人で家に帰った時、家の中で母と若い男（武藤周作）が情事を重ねていた。父と格闘になり父は殺されてしまう。

父の死後お浜は光子を連れて奥西（木南洋）の所に後妻に来たがお浜の身持の悪さがもとで喧嘩が絶えない。お浜は奥西の金をごまかしたのがばれ、夫に娘の光子の肉体を提供した。母が娘の体を自分の夫に投げ与えるとは…絶望した光子は夜の街角に立つ女になっていた。

〝マッチ一本が燃えている間だけ私のからだを見れるのよ〟とコートの前をひろげるのだった。監督＝山本晋也

「処女残酷」の火鳥こずえと加山恵子

処女残酷 ＝東京興映配給

■男の体臭がしみついた転落の女たち!!

温泉宿の娘朋子（加山恵子）には吾郎（武藤周作）という恋人がいたが父は二人の結婚を許さなかった。吾郎は船員になってかならず迎えに来るといって旅立ってしまう。淋しい毎日を過している朋子は番頭（三海克郎）に強引に犯されてしまう。何日か後朋子は番頭に連れられ港町へいき身を寄せた旅館は島のボス（冬木京三）が経営している売春宿だった。娼婦たちは港に船が入るたび客をとらされ地獄のような生活だった。脱け出そうとすればボスの凄惨な私刑がまっている。そんなある日吾郎が売宿宿にあがり朋子と再会し連れ出そうとするがボスに見つかり責められる。仲間の喜代（火鳥こずえ）の助けをかり吾郎の許え逃げるのだった。監督＝渡辺護

OPチェーン 映画ガイド

10/3～10/12	性犯(大蔵映画)	猟色(大蔵映画)
10/13～10/20	青春の悦楽(葵映画)	狂ったいとなみ(関東ムービー)
10/21～10/27	売女(日本シネマ)	肉地獄(関東映配)
10/28～11/6	女体残虐図(大蔵映画)	多情な乳液(大蔵映画)
11/7～11/13	続・みだれ髪(六邦映画)	変態魔(日本シネマ)
11/14～11/20	処女証明書(関東ムービー)	日本犯罪史通り魔(関東映配)

■編集後記

■独立プロの活動が活発化してやっと映画界の秋たけなわを感じさせる。新藤兼人、吉田喜重、今村昌平監督の独立プロ活動だが、これらの特集で、成人映画プロのメンメンもウカウカしていられないことを感じとってもらえば幸い。

■若松孝二が12月のブリュッセル国際映画祭に〝胎児が密猟する時〟を出品し、このところ海外でガッポリ!の意欲満々。そうです。外国で通用する作品をドシドシ作ってもらいたいもんです。

■十二月に成人映画の別冊増刊を発行する予定です。この一冊でことしの成人映画の総てとエロティシズムが一目でわかるデラックス版です。次号でその全内容を予告します。

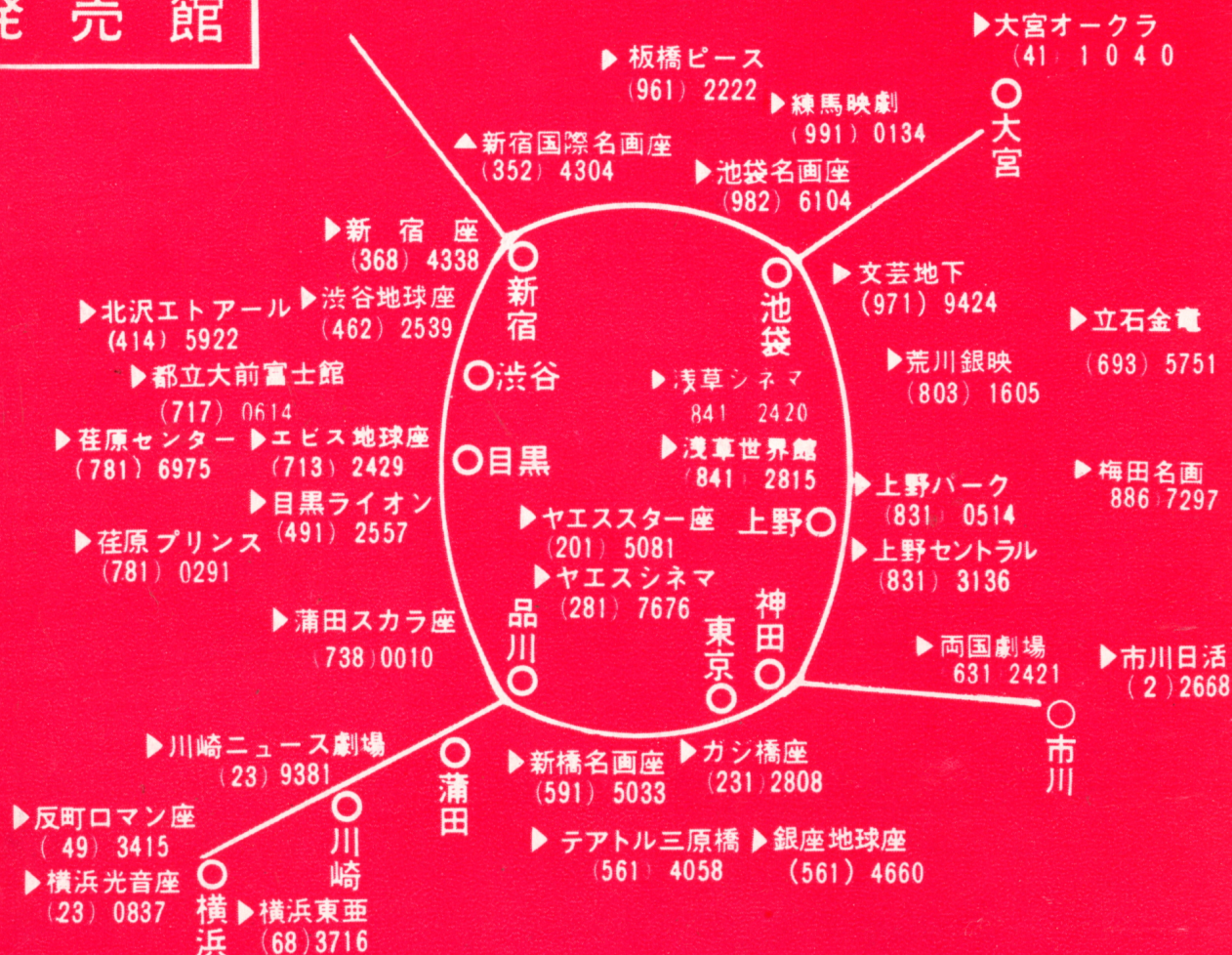
■今回から独立プロの社長、プロデューサーにインタビューしての〝発言〟をつづけてゆきます。これらの人たちがどんな思考を抱いているのか興味がわきます。

■ピンクスターにいささかピンクでHな質問をあびせることにしました。いまやセックスに関しての会話なり発言は週刊誌や、映画などでご存知の通り、かなりオープンです。女優さんたちに浴びせる質問も歯に衣をきせないつもりですから、登場女優よ大胆卒直にためらわずにとお願いしておきます。(K)

成人映画

■昭和42年10月15日発行 通巻第22号 毎月1回20日発行 編集兼発行人／川島のぶ子 発行所／東京都中央区銀座西8—10高速道路ビル地下101号室 現代工房電話／東京(571)6400 ■定価百円

成人映画
発売館

関東地区成人映画上映館一覧表

地区	館名	電話
大阪	▲あべの名画座	(615) 5885
	▲天六映劇	(351) 9138
	▲吉本キネマ	(451) 6793
神戸	▲大陽会館	(22) 5295
京都	▲八千代館	(22) 2250
四日市	▲ぼたん映劇	(2) 2311
高岡	▲中央劇場	(2) 6518
広島	▲福山名画座	(3) 2121
名古屋	▶名画座	(231) 3211
	▶テアトル希望	(541) 3044
	▶堀川映劇	(231) 6193
	▶南映	(691) 6101
	▶今池フジ	(731) 4763
岐阜	▶朝日映劇	(3) 3321
	▶テアトル岐阜	(2) 5487
福井	▶メトロ劇場	(2) 1772
岡山	▶白鳥座	(22) 5441
九州	▶長崎東館	(2) 1962
町田	▶町田映劇	(22) 3161
	▶エトアール劇場	(22) 2828
横須賀	▶セントラル劇場	(22) 1004
静岡	▶新映	(2) 7350
	▶沼津中央	(62) 5180
	▶島田東映	(7) 2679
新潟	▶大要劇場	(23) 1751
長野	▶商工会館	(2) 2766
福島	▶若松大映	(2) 6220
	▶平名画座	(平) 3839
宮城	▶仙台公園劇場	(56) 4369
	▶気仙沼東映	(気仙沼) 821
青森	▶弘前ニュー東映	(2) 4013
秋田	▶能代国際	(2) 4207

月刊「成人映画」通巻 号 昭和42年10月1日発行 編集発行人 川島のぶ子 発行所／東京都中央区銀座西八ー一〇高速道路ビル 電話（五七一） 現代工房 定価百円